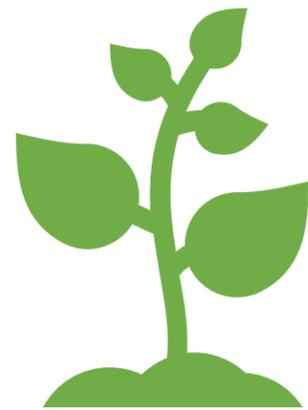




第2部 公務員試験を知ろう！



第2部 公務員試験を知ろう！

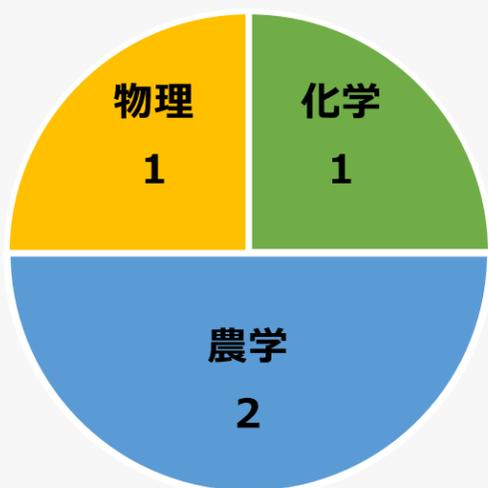
第2部では、内定者7名による国家公務員一般職試験の勉強・対策方法をお伝えします。なお、本冊子に記載している試験方法や内容は、令和7年度入省内定者が受けた試験について述べたものであり、次年度以降の試験とは異なる可能性があります。

また、第1部同様に内定者4人の体験談を紹介しています。勉強方法や勉強スケジュール等については、内定者個人の見解に過ぎず、もし事実と異なった場合でも責任はとりかねますことをご了承下さい。あくまでも、本冊子は参考としてご覧いただければ幸いです。

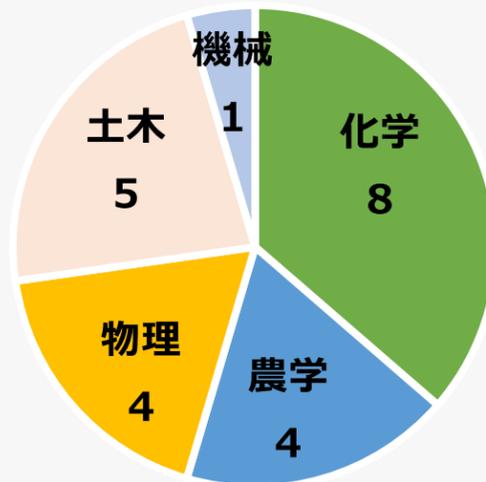
□ 公務員試験の基本データ

□ 試験の区分

令和7年度入省予定 試験区分



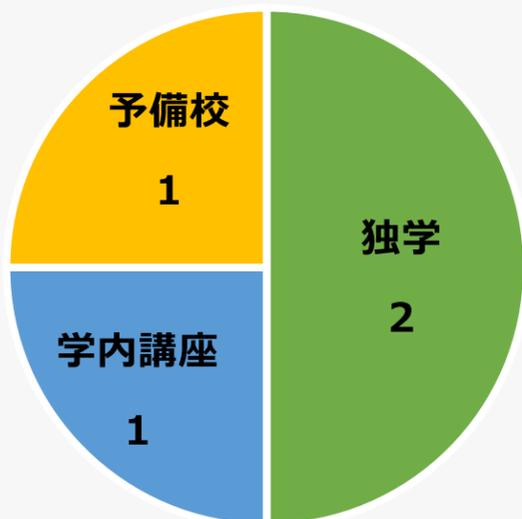
過去5年間 試験区分



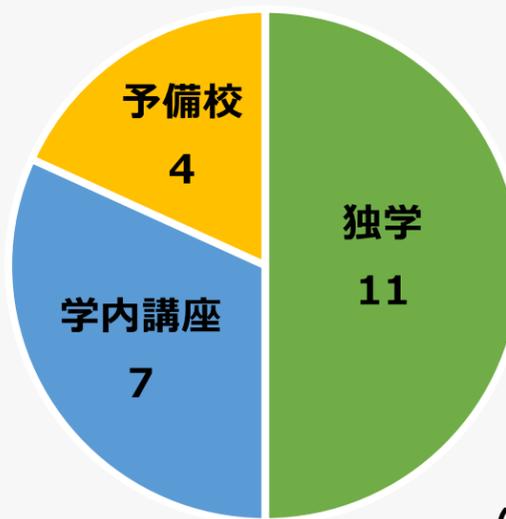
(単位：人)

□ 勉強方法

令和7年度 勉強方法



過去5年間 勉強方法

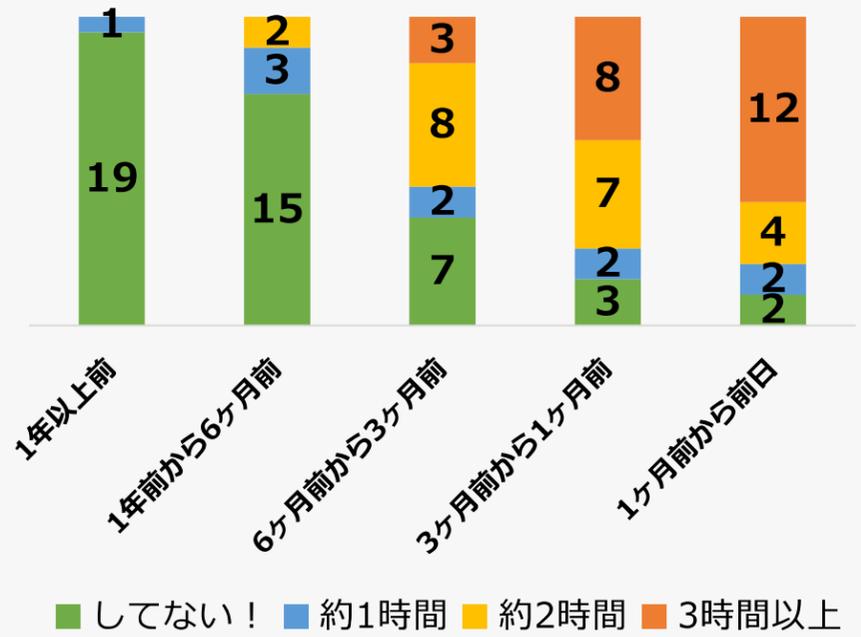
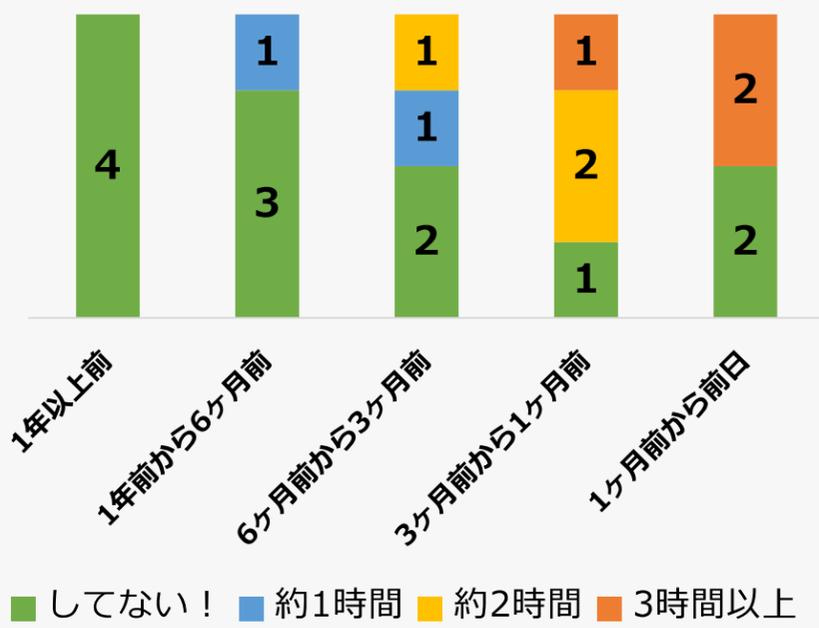


(単位：人)

□ 時期別の1日あたり勉強時間

令和7年度 一次試験までの1日
あたり勉強時間

過去5年間 一次試験までの1日
あたり勉強時間



(単位：人)



© 環境省

□ 国家公務員一般職試験の概要

試験区分には専門科目による区分が存在します。また、試験は大きく2つに分けられ、「1次試験（マーク式試験 + 記述式試験）」「2次試験（人物試験）」があります。これらの筆記試験の過去問は人事院に請求することで入手できます。

1次試験

基礎能力試験（多肢選択式）

いわゆる教養試験で、配点は2/9です。問題は多岐に渡り、国語力や英語力、頭の柔らかさ、知識力などが試されます。出題数は2024年度より30題になりました。

専門試験（多肢選択式）

選択した専門科目の知識が試される試験で、配点は建築区分で2.5/9、建築以外の区分で4/9と高く設定されています。40題出題で40題回答となっている専門区分が多いですが、選択問題を含む区分も存在するので、区分ごとによく確認が必要です。

専門試験（記述式）

選択した専門科目で出題されたテーマに対し、社会的な問題等を織り交ぜて自分の意見を論ずる小論文形式の論述問題（建築区分は製図問題）です。配点は建築区分で2.5/9、建築以外の区分で1/9です。

これら3つの試験は全て同日に行うため、長丁場の体力勝負となります。

2次試験

1次試験に合格後、2次試験へと進みます。

人事院面接

当日までに面接カードを記入して、基本的にその内容に沿って質問される個人面接で、配点は2/9です。面接時間はおよそ10～20分程度で、面接官は3人です。

官庁訪問

官庁訪問

見事2次試験を合格し、最終合格した人は採用名簿に掲載され、官庁訪問を受けることが可能になります！最終合格=採用ではなく、採用されるためには官庁訪問で各府省から個別に内定を貰う必要があります。名簿は5年間有効（2022年度までに合格された方は3年間有効）なので、少しでも興味があるのなら前年度から積極的に試験を受験することをおすすめします。

官庁訪問の詳細については第3部で説明します。

No.1 ゴレンシ

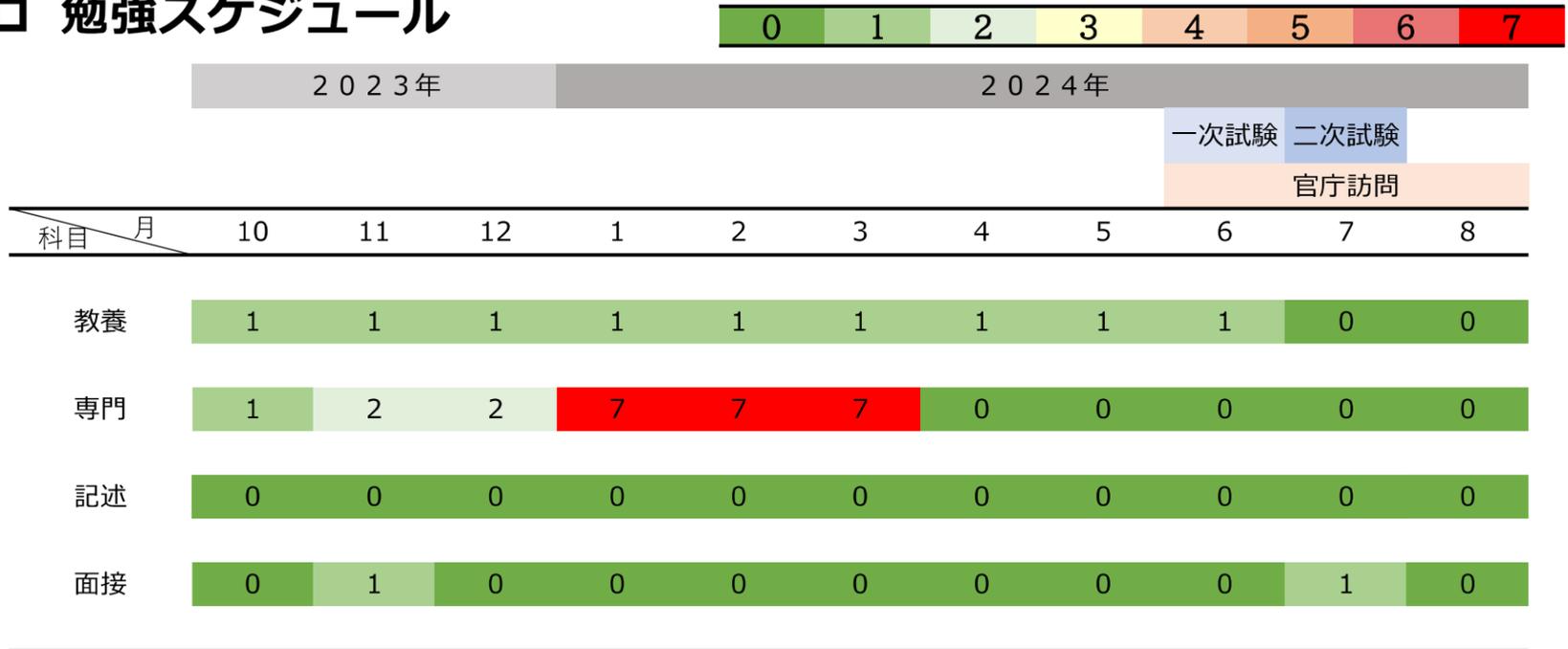
試験区分：農学

合格年度：2024年

出身大学：神奈川県/農学部/生命科学科

1日の平均勉強時間（時間）

勉強スケジュール



教養は1日3問などノルマを作り、日課として勉強する習慣をつけていました。

各試験の勉強量バランス



試験直前は得点比率の高い専門多肢に集中して一次試験の対策を進めました。筆記試験に加え、面接の練習も行うことでバランスよく対策を進めました。

利用してよかったもの

- ・『公務員試験 技術系スーパー過去問ゼミ 農学・農業』
- ・公務員学内講座 演習教材
- ・過去問

成功談

総合職試験の対策で対応できたため、早めのうちに官庁訪問対策に集中できたことです。

失敗談

専門記述の対策をしておらず、当日に少し焦りました。

□ 各試験の具体的な対策

教養

学内講座で配布された教材をメインに活用して演習をしていました。数的処理・文章理解は毎日1問でも解くように心がけ、試験の問題に慣れました。少しでも継続して問題を解き続けることで、試験本番でも動揺することなく解くことができたと感じました。

専門多肢

『公務員試験 技術系スーパー過去問ゼミ 農学・農業』と総合職試験の過去問を中心に学習しました。『スーパー過去問ゼミ』は問題は解かずに、解説を読み込みました。過去問演習では選択肢の文章の正誤を教科書やインターネットを活用して調べる作業を繰り返していました。

専門記述

特別な対策はしていません。日頃から農学部授業の中で扱っている話題について自分なりの意見をもつことを意識していたため、試験当日に出題されたテーマに対してもすぐにまとめた意見を述べることができたのだと考えます。

人事院面接

民間企業の面接対策をまとめている参考書などを読み、一般的なマナーを身に着けました。また、面接カードに記載した内容から想定される質問を考え、受け答えの練習をしました。

面接カードを作成する際は、「なぜ国家公務員なのか」、「どういったことをしたいのか」、「どんな社会を実現したいのか」などを意識しました。

No. 2 うめ

試験区分：物理

合格年度：2024年

出身大学：茨城県/理工学研究科

1日の平均勉強時間（時間）

□ 勉強スケジュール



科目	2023年			2024年							
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
教養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記述	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
面接	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

公務員試験を受ける予定ではなかったため、特に試験勉強は行いませんでした。ただ、環境問題に大変関心があったため、日頃からそれに関する授業やシンポジウム、課外活動に積極的に参加していたことが、官庁訪問で役に立ちました。

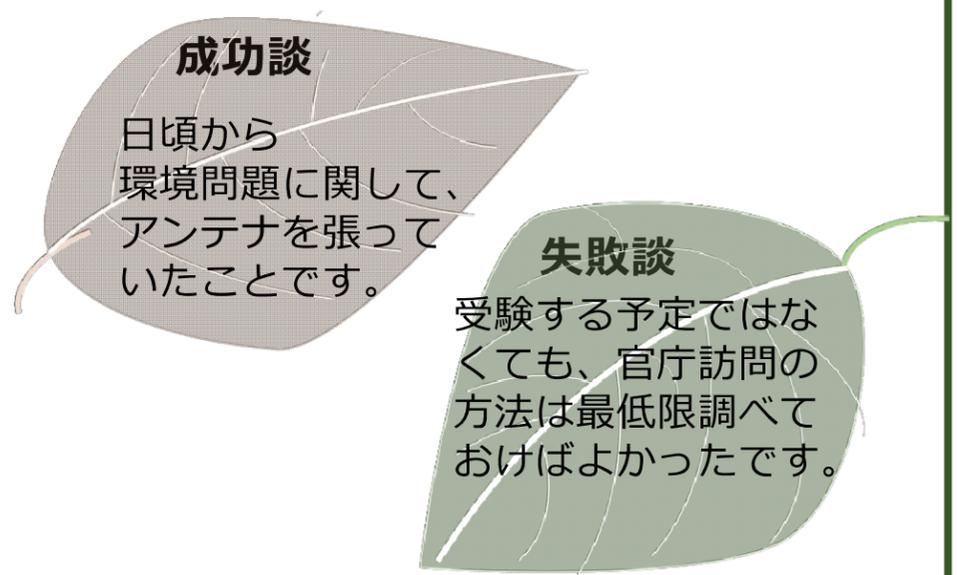
□ 各試験の勉強量バランス



1次試験に合格した後に、急いで官庁訪問の準備をしました。

□ 利用してよかったもの

特になし



□ 各試験の具体的な対策

教養

公務員試験対策の勉強はしていなかったため、参考にならず恐縮ですが、SPIを2、3度受験していたことと、広い分野に興味があり、関心を持ってニュースを見るようにしていたことが、人文科学等の問題で役に立ったと思います。

専門多肢

大学4年間、物理学の授業を履修していて、日頃から物理学の分野で研究していたことが、基本的な問題を回答できた要因だと思います。

専門記述

自分の研究について、どのようなことに役立つ可能性があるかを調べていたこと、専門以外の方にわかりやすく説明できるようにしていたことが、記述試験で役立ったと思います。出題された問題が「物理学の現象等の中で、一般の人々の間で理解が不足しているものを説明せよ」というものだったため、自分の研究について書くことができました。

人事院面接

なぜ環境省に入省したいか、官庁訪問を踏まえて、もう一度振り返りました。

反省点としては、国家公務員としての質問に言葉が詰まったため、公務員としてどう働きたいかを考えておくべきでした。

No. 3 シギ

試験区分：化学

合格年度：2024年

出身大学：北海道/理学部/有機化学

1日の平均勉強時間（時間）

□ 勉強スケジュール



科目 \ 月	2023年			2024年							
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
教養	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
専門	0	0	0	0	0	2	4	4	0	0	0
記述	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
面接	0	0	1	1	1	1	1	1	6	1	0

日程に余裕がなかったので、一次試験までは過去問を中心に。

筆記試験後は面接について考えておりました。（時間をご参考程度）

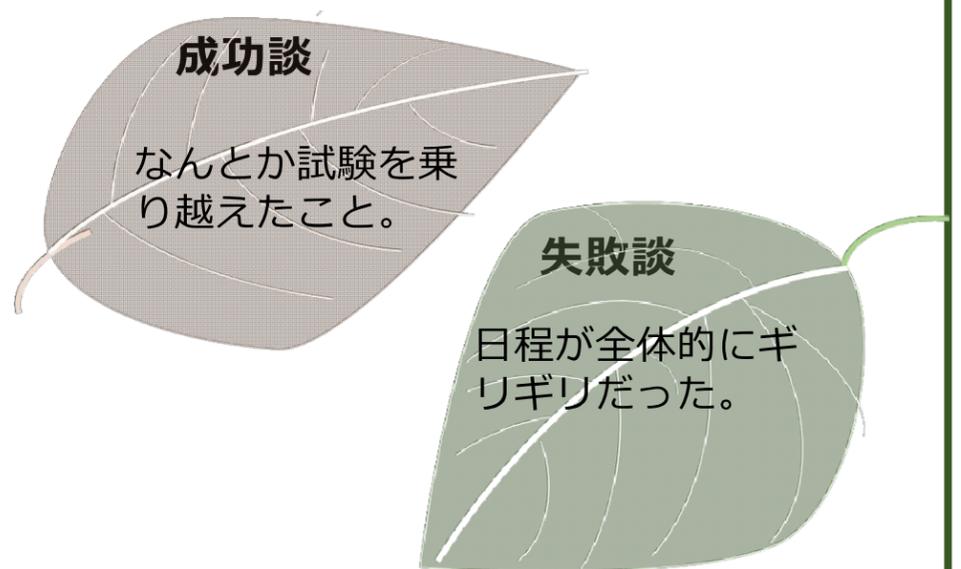
□ 各試験の勉強量バランス



記述は正直出たところ勝負でやりました。
みんなはちゃんと対策しよう！

□ 利用してよかったもの

過去問、高校・大学の教科書



□ 各試験の具体的な対策

教養

もっぱら過去問で対策しました。

マークずれと時間切れがとにかく怖かったので、「しっかり考えれば解けそうなんだけど…」という問題はとりあえずマークだけして最後まで回答欄を埋めました。その上で、見直しの際に再度検討する方法で解き、簡単な問題を取りこぼさないよう心がけました。

専門多肢

本当なら教科書から丁寧に体系的な学習をとりたかったのですが、時間的余裕がなかったので、過去問から取り組みました。その上で、バックキャスト的に、わからなかったことは教科書等に立ち返って勉強して、知識（もしくは解ける問題）を積上げていきました。多肢選択のマーク形式なので、わからなくてもまず埋めるだけ埋めました。

専門記述

正直出たところ勝負です。

どのような議論にすると書きやすいかや、着眼点を複数用意できるか、論理的に矛盾がないか、結論をきれいに見せられるかなどは書き出す前に意識しました。

人事院面接

志望動機だけはある程度固め、後はエピソードを頭に留め置く程度にして面接官との会話の流れに任せることにしました。

結果的に、自己PRは自分を魅せるというより、他者を思いやることに重きを置いていることに気づかされました。

No.4 カピバラ

試験区分：農学

合格年度：2024年

出身大学：東京都/生命科学部/分子生命化学科

1日の平均勉強時間（時間）

勉強スケジュール



科目	2023年			2024年							
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
教養	1	1	1	2	2	2	1	1	1	0	0
専門	1	1	1	1	1	1	3	3	3	0	0
記述	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0
面接	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	0

教養科目の勉強は、2023年の夏休み前くらいから始めました。専門試験は、2023年9月くらいから始めましたが、教養科目ばかり勉強していました。しかし、2024年3月の国家総合職の試験を受験後、専門科目が全然身につけていないことに焦り、専門科目中心の勉強をしていました。

各試験の勉強量バランス



教養は映像授業で進めていたため、1週間に〇コマ受けようとして決まっていたように進められるようにしていました。専門多岐は暗記することが多かったため、通学時間(往復4時間)で参考書をパラパラ見るようにしていました。面接は、大学生協の公務員講座担当の方と月に1回練習するようにしていました。

利用してよかったもの

- ・ 専門多岐の過去問
- ・ 『公務員試験 技術系新スーパー過去問ゼミ 農学・農業』
- ・ 大学生協の公務員講座

成功談

小学生のころから算数や数学が好きで判断推理と数的推理を得意科目にできたことです。

失敗談

専門記述の過去問を見なかったことです。本番で十分な文章量が書けませんでした。

□ 各試験の具体的な対策

教養

大学生協の公務員講座の映像授業で勉強しました。一通り映像授業は見ましたが、時間が足りなかったため、演習を重ねられたのは数的推理、判断推理、文章理解だけでした。全部の科目をやるに越したことはないですが、教養科目の基準点は12/40なので、これらの科目だけでも足りるのではないかと考えていました。

専門多岐

農学は、ほぼ初学者(大学で一部学びましたが)だったため、各科目の基礎的な参考書を約10冊買いました。この参考書を見ながら『公務員試験 技術系新スーパー過去問ゼミ 農学・農業』を2周くらい解きました。そのあと、国家公務員一般職の過去問3年分をコピーして、一問ごとにノートに貼り、その下に自分で作った解説を書きました。

専門記述

文章の書き方については、公務員講座の授業や添削で身に着けました。しかし、地方自治体向けの論作文だったため、農学に関連した記述の練習はしたことがなかったです。本番は、農業の情勢をあまり知らなかったため、専門多岐の対策で身に着けた知識でどうにか書きました。農業の情勢についてもっと知っていれば書きやすかったと思うので『食料・農業・農村白書』のトピックスは見ることを勧めます。また、地方自治体対策向けの参考書ですが、エクシア出版の『寺本康之の小論文バイブル』は小論文のまとめ方が丁寧に書かれており、おすすめです。

人事院面接

面接対策は、大学生協の公務員講座担当の方から「早めにやっておいたほうがいいよ」と助言があり、10月ぐらいから少しずつ始めていました。まず、面接カードの内容については、短い文章で伝えたいことが伝わるよう、大学のキャリアセンターの方や大学生協の公務員講座担当の方に添削してもらいました。その後、その面接カードをもとに、面接練習をしました。本番は官庁訪問後で面接慣れをしていたため、あまり緊張せずに面接を受けられました。